

## 機関誌「病児保育研究」投稿規定

1. 「病児保育研究」（以下本誌という）への投稿は本協議会会員に限る。
  - 注1）施設会員の職員は投稿は可能。
  - 注2）施設会員の職員ではないが、正会員が共著者として連名で論文指導を行った場合、学生・行政の担当者などであっても投稿することは可能。
  - 注3）共著者もすべて会員であることが必要。  
但し本協議会が執筆を依頼する場合は会員に限定しない。
2. 論文の投稿は、本誌のみに発表するものであって、他雑誌（和文、外国語を問わず）に発表された論文、あるいは発表予定の論文ではないこと。
3. 会員の投稿による原稿は「調査と研究」、「実践報告」、「短報」の項で扱う。採択の決定は編集委員会が行い、採用の決定が行われた日を受理日とし、雑誌内に表記する。投稿論文については、編集委員会で内容を検討し、修正を求めることがある。
4. 原著は「調査と研究」の項で扱う。原著については、2名以上の査読者に検討を依頼する。
5. 原稿の様式
  - 1) 原稿は図表を含め、正1部と副2部を作成、送付する。
  - 2) すべての原稿について、表紙には表題、著者全員の氏名、所属施設名、連絡先（責任者の氏名、住所、電話番号、ファックス番号、e-mailアドレス）、そして別刷の必要部数を明記する。（別刷は30部まで無料。31部以上は有料。）
  - 3) 「調査と研究」「実践報告」については、①表紙②キーワード（5語以内、原則として日本語、索引として役立つものを選ぶ；表紙に記載）③和文要旨（目的、方法、結果、考察を含んだ内容とし、600字以内）④本文⑤文献⑥図表（写真を含む）の順に記載する。本文、図表（写真を含む）、文献のすべてについて正1部、副2部を必要とすること。要旨は目的、方法、結果、考察を含んだ内容とし、600字以内とする。略語は用いず、外国語は適切な日本語がない場合に限る。
  - 4) 「短報」は、本文と図表（写真を含む）の他に文献は必要とするが、要旨、キーワード、は必要としない。
6. 原稿の長さ
  - i) 「調査と研究」は400字詰原稿用紙20枚以内とし、図表、写真は1枚に換算する。（本誌では1頁1600字、刷り上がり5～6頁が標準となります）
  - ii) 「実践報告」は400字詰原稿用紙16枚以内（刷り上がり3～4頁以内）とし、図表・写真は1枚に換算する。
  - iii) 「短報」は、400字詰原稿用紙4～8枚以内（刷り上がり1～2頁以内）とし、図表、写真は1枚に換算する。

7. 原稿は以下の要領に従うこと。

- 1) 原稿用紙は20字×20行とし、平かな、常用漢字、現代かなづかいを用い、記述は「～である。」調とする。
- 2) 本文はMS-Wordまたは同等ファイルで作成し、プリントアウト正1部、副2部とデータをCD-RもしくはUSBメモリー（機種、ソフト名を記載）に保存して送付すること。メールでの原稿提出は不可とする。
- 3) 学術用語は日本小児科学会編の小児科用語集による。
- 4) 本文中に略語を用いる場合は、一般に使われているものとし、初出に際して、省略しない語を記載し、カッコ内に略語を示すこと。
- 5) 原則として外国人名は原語で、薬品名は一般名で記載すること。
- 6) 論文中に顔写真を使用する場合は、対象児または親権者に許可を得ておくこと。また、許可を得たことを写真の説明の中に明記すること。やむを得ない場合は患者の同定が不可能になるような工夫をすること。
- 7) 数字はアラビア数字を用い、数量の単位は、km、m、cm、mm、 $\mu$ m、l、dl、ml、 $\mu$ l、kg、g、mg、 $\mu$ g、mEq/l、mg/dlなどを用いること。mm<sup>3</sup>、cmmなどは用いず、 $\mu$ lを用いること。
- 8) 引用文献は必要最少限にとどめ、論文中での引用順に番号を付し、論文末尾に一括して記載する。記載順は引用順とし、本文中の引用箇所には右肩に文献番号をアラビア数字で記入すること。
- 9) 他の著作物から転載する場合は、著作権保護のため、原出版社と原著者の許可を得る。
- 10) 引用文献の書き方は、次の形式による。

雑誌：著者名.題名.雑誌名 発行年次（西暦）；巻数：最初のページ—最終ページ

単行本：著者名.書店名.版数. 発行社の所在地名：発行社.発行年次（西暦）

分担執筆による単行本の中での分担部分の引用の場合：著者名.分担執筆部分の表題.編集者名.書名.版数. 発行社の所在地名：発行社、発行年次（西暦）：分担部分の最初のページ—最終ページ

なお雑誌名は公の略称を使用すること。

<例>

- ・ Beltramin AU,Hertzig ME.Sleep and bedtime behavior in preschool-aged children.Pediatrics 1983;71:153-158
- ・ 鈴木義之.細胞生物学からみた遺伝性酵素欠損症の病態.日児誌 1984；88：405-408
- ・ 松永 英.日本における遺伝性疾患の頻度.日暮 眞編.遺伝相談.小児科Mook32.東京：金原出版,1984：1-11

8. 倫理規定：ヘルシンキ宣言や臨床研究に関する倫理指針（厚生労働省、文部科学省）に則り、内容によっては、当協議会の倫理委員会にて承認が必要となる場合がある。個人情報への順守、他者の著作権を尊重し必ず引用文献を表記することは当然であるが、論文内

に倫理規定に従って研究された旨を明記していること。

9. 著者校正は1回行う。著者校正に際しての内容の変更は原則として認めない。
10. 原稿添付の原図から製版できない場合の版下料、アート紙使用の際の組代、印刷代、カラー印刷代は著者負担とする。
11. 別刷：投稿の際に所要部数を明記した場合に限り、実費で作成する。
12. 図表は、手書きではなく、ワード文書あるいはエクセルにて作表するものとする。手書きの場合、作表手数料を実費負担とする。また、写真は、印画した写真を添付する。
13. 規定の枚数を超過した場合、原稿を修正していただくか、超過した印刷頁数分の実費負担を前提として、編集委員会が承認した場合に採用するものとする。
14. 著作権は一般社団法人全国病児保育協議会に帰属するものとし、掲載された記事の転載（翻訳を含む）にあたっては、事前に本協議会に許諾を求めてください。転載申請に関しては、以下の協議会事務局メールアドレス宛にメールでお問い合わせください。  
メールアドレス info@byoujihoiku.net
15. 投稿論文が不採用になった場合で、その判定に対して論文提出者が明らかに不当と考えた場合は、その理由を明記して本編集委員会宛に不服申し立てすることが出来る。但し、編集委員会において、慎重に検討した上で再度判定した結果は覆ることはない。
16. 原稿送付先 ・お問い合わせ先  
一般社団法人 全国病児保育協議会 事務局  
〒860-0833  
熊本県熊本市南区平成1丁目11-10  
(株)愛光社内  
Tel : 096-352-5552  
Fax : 096-359-7538  
E-mail : info@byoujihoiku.net

「病児保育研究」編集委員会宛とし、「原稿在中」と表記すること。